

製品名: NCX1 (13Y2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14460**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	109kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC8A1
別名	Na ⁺ /Ca ²⁺ exchanger; NCX1; SLC8A1;
遺伝子 ID	6546.0
SwissProt ID	P32418
免疫原	ヒト NCX1 の合成ペプチド

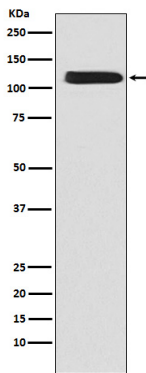
背景

興奮収縮連関時に Ca^{2+} を急速に輸送する。 Ca^{2+} は弛緩時に細胞外に排出され、細胞内ストアの過負荷を防ぐ。細胞膜を介して 1 個の Ca^{2+} イオンと 3~4 個の Na^{+} イオンの交換を媒介し、細胞質 Ca^{2+} 濃度および Ca^{2+} 依存性細胞プロセスの調節に寄与する (PubMed:1374913、PubMed:11241183、PubMed:1476165)。筋肉における興奮収縮連関時の Ca^{2+} 輸送に寄与する。第一段階では、電位依存性チャネルが小胞体からの Ca^{2+} ストアの放出による細胞質 Ca^{2+} 濃度の急速な上昇を媒介する。SLC8A1 は、次の段階において細胞外への Ca^{2+} の排出を媒介し、細胞質 Ca^{2+} 濃度を速やかにベースラインまで回復させます。これは、正常な胎児心臓の発達と心臓収縮の開始に必須です。

研究分野

カルシウム;心筋収縮;肥大型心筋症 (HCM);不整脈性右室心筋症 (ARVC);拡張型心筋症;

画像データ



K562 細胞溶解物中の NCX1 発現のウェスタン プロット解析。